



2019年4月26日

各 位

ハウスコム株式会社
代表取締役社長 田村 穂
(JASDAQコード番号: 3275)
問合せ先 経営企画室長 瀬戸 聖治
電 話 03-6717-6939

連結決算への移行及び2020年3月期連結業績予想に関するお知らせ

当社は、2020年3月期より連結決算に移行いたしますので、2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の連結業績予想をお知らせいたします。

1. 連結決算開始について

当社は、本日「ジューシィ出版株式会社の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、ジューシィ出版株式会社（以下、ジューシィ出版）を連結子会社化いたします。これに伴い、2020年3月期より連結決算に移行いたします。

2. 2020年3月期の業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

不動産賃貸仲介業界においては、近年、インターネット上のサービスの拡充とスマートフォンの普及により部屋探しの仕方が急速に変化しており、IT技術を活用して部屋探しのお客様のニーズを満たすことが競争力の重要な要素となっています。このような潮流に対して、当社は不動産テックと呼ばれるIT技術の活用やAI（人工知能）の利用に積極的に取り組んできました。今後も、積極的な新規出店や新規事業育成への注力に加えて、不動産テックの技術を活用しながらお客様との接点を増やすとともに、提供するサービスの拡大・拡充に取り組むことを方針としております。

さらに、ジューシィ出版を連結子会社化することにより、事業運営の連動性を高め、相互の強みを活かして事業シナジーを生み出すことが可能であると考えています。両社における一連のサービス提供・運営についてより密接な連携を図ることによる事業運営の効率化、WEBサイトの活用についてのノウハウの共有によるお客様との接点の増加・サービス提供の拡大、お客様のニーズに対応した新たなサービスの開発・提供等、シナジー効果を生み出す取り組みを進めることを予定しています。

その一方で、不動産賃貸分野においては転居需要のピークシーズンである1月から3月に売上及び収益が集中する傾向がありますが、ジューシィ出版の携わっている不動産賃貸分野における広告事業は特にその季節的変動性の影響を受けやすい特徴をもっています。

これらを踏まえて、2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の連結業績予想は、以下のように見込んでおります。

	連結営業収益	連結営業利益	連結経常利益	親会社に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第2四半期（累計）	5,801	52	54	32	4.27
通期	13,034	1,171	1,404	924	119.85

（注1）2019年3月期は連結決算を行っておりませんので、対前年増減率は記載しておりません。

（注2）上記業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、2020年3月期の業績予想における連結営業収益の内訳は次のようになります。

（単位：百万円）

	第2四半期累計期間	通期
連結営業収益	5,801	13,034
仲介手数料収入	2,441	5,479
仲介業務関連収入	3,338	7,513
その他の収入	21	41

（注1）2019年3月期は連結決算を行っておりませんので、対前年増減率は記載しておりません。

3. その他

本日開示した2019年3月期決算短信において2020年3月期の配当予想を公表しておりますが、本件連結決算の開始に伴う配当予想の変更は現時点では予定しておりません。

以 上